

## ガラス塗料グラノールの塗装方法について

今までのグラノールレギュラー品は**グラノール8**となり

硬度が8を意味しており、基本的に仕上げ塗料とし、マット剤により艶調整が可能で仕上がりが良くなります。

今回新たに**グラノール6**が発売されました。これは下塗り塗料で防水性を上げ、染み込み料を抑えるものです。

原液では粘性が高く塗りムラをおこし易いため30%位希釈して使用していただきたいと思います。ただ、杉材などの染み込みが大きい材につきましては1回目希釈無しでも良いと思われれます。このグラノール6は硬度6を意味しており、仕上げのグラノール8とは接着性が高く一体化した塗膜が形成されます。

以下グラノール6を使用する方法について、グラノール6，8の比較表をご覧ください。このグラノールの使い方で木地の味を生かした今まで以上の防水性能が得られるものと思います。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成25年1月28日

品名		GLANOL8		GLANOL6	
		グラノール8	グラノール8濃縮液	グラノール6	グラノール6濃縮液
鉛筆硬度		8H		6H	
用途	トップコート (耐擦傷性)	◎		○	
	トップコート (艶調整)	○ (専用マツト剤あり)		△ (艶ありのみ)	
	フィラー (造膜性)	さんかく (自然な仕上がり)		△	
	シーラー (密閉性・防水性)	○		◎	
	プライマー (密着性)	○		◎	
	適用用途	多用途 (上塗り向き)		多用途 (下塗り向き)	
特徴	残留臭	無し		無し	
	通気性	○		○	
	耐水性	○		○	
	防水性 (撥水性)	△親水性		○撥水性	
	耐酸性	○		○	
	耐アルカリ性	△		○	
	耐溶剤性	◎		◎	
物性	比重	0.91	0.96	0.92	0.97
	硬化後重量	18%	27%	20%	30%
	粘度(mPa・s)	4.0	16.2	5.2	21
	pH	7~8		7~8	
	引火点	16	26	15	23
	溶媒組成	MMB・エタノール	MMB	MMB・エタノール	MMB
適用素材	ガラス	◎		○	
	石材	◎		○	
	木材	◎		◎	
	金属	△		○	
	金属	×		△	
	熱硬化性樹脂	△		○	
	熱可塑性樹脂	×		△	



## グラノール6の使い方 (下塗り、シーラー用途として)

グラノール6（レギュラー）は既存のグラノール（レギュラー）に比べて、粘度が高いので「うすめ液」30%添加を限度として濃度調整した方が作業のしやすく、また、仕上がりがよくなります。\*杉などの吸い込みの大きい針葉樹などは希釈を少なく、吸い込みの小さい比重の大きい広葉樹は希釈を多めにするとよいでしょう。

グラノール6（レギュラー）は既存のグラノール（レギュラー）に比べて、撥水性が高い分、防水性が高くなりますが、つや調整は難しいので、つや消しで仕上げたい場合、最終塗工は既存のグラノール（レギュラー）にマット剤を添加し行ってください。\*透水性は 「グラノール6×1回 = 既存グラノール×2回」

\* 防水性を求めない場合：

1. 木地研磨 #240～
2. グラノール6（レギュラー） 1回目 \*マット剤使用不可。
3. 研磨 #600～#800
4. グラノール8（レギュラー） 1回目 \*既存品です。\*マット剤使用可。

\* 防水性を求める場合：

1. 木地研磨 #240～
2. グラノール6（レギュラー） 1回目 \*マット剤使用不可。
3. 研磨 #600～#800
4. グラノール6（レギュラー） 2回目 \*マット剤使用不可。
5. グラノール8（レギュラー） 1回目 \*マット剤使用可。

\* 塗り回数が多い場合、適時、研磨を入れると仕上がりが美しくなります。